

群馬の枝豆の収穫量は全国1位

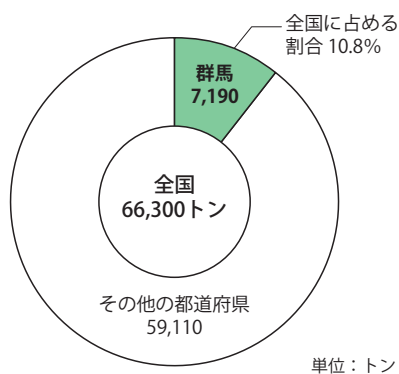
～恵まれた自然条件と首都圏という好立地による～

○盛夏の7月から8月にかけて旬を迎える枝豆は、夏の風物詩として多くの人に親しまれている。枝豆は、全国各地でつくられ、2020年の収穫量は6万6300トンにのぼるが、群馬の収穫量は7190トンと、その10.8%を占める（図表1）。

○都道府県別にみると、群馬は、長年にわたり収穫量で全国上位を維持しており、2018年以降、3年連続で全国1位となっている（図表2）。群馬は、豊富な水資源と長い日照時間といった自然条件に恵まれ、枝豆の生育に適している。また、首都圏に位置するという立地条件も鮮度の落ちやすい枝豆の流通には有利である。

○大消費地である東京市場の年間の入荷量をみると、群馬からの入荷は、全体の3割近くに及ぶ（図表3－①）。月別では、群馬からの入荷は7月にピークとなり、8・9月は東北地方の秋田や山形からの入荷が増える（図表3－②）。

図表1 全国の枝豆の収穫量(2020年)



資料：農林水産省「作物統計調査」より作成

図表2 枝豆の収穫量が多い都道府県(2017年～2020年)

単位：トン

	2017年	2018年	2019年	2020年
1	北海道 7,560	群馬 6,420	群馬 6,230	群馬 7,190
2	群馬 6,550	北海道 6,020	千葉 6,120	北海道 6,970
3	千葉 6,090	埼玉 5,870	山形 6,020	千葉 5,730
4	埼玉 5,840	千葉 5,830	埼玉 5,720	埼玉 5,490
5	山形 5,820	山形 5,540	北海道 5,660	山形 5,390
6	新潟 4,900	新潟 4,510	秋田 5,580	秋田 4,920
7	秋田 4,520	秋田 4,060	新潟 4,870	新潟 4,350

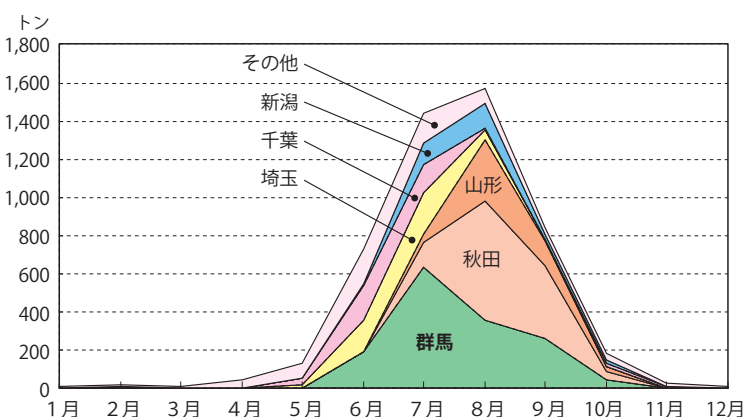
図表3 東京市場における枝豆の都道府県別の入荷量(2020年)

①年間の入荷量

単位：トン

全体	5,020
(内訳)	
群馬	1,496
秋田	1,188
山形	542
埼玉	450
千葉	401
新潟	299
その他	643

②月別に入荷量



注：入荷量は、豊洲、大田、豊島、淀橋、葛西、北足立、板橋、世田谷、多摩ニュータウンの計9卸売市場の合計。

資料：東京都中央卸売市場「市場統計情報（月報）」より作成

(担当：須藤一麻)